



にしわき やすし 議員



空き家の現状と今後は

町長 計画をもって実行

高齡化社会が進む中、団塊世代の相続が進み空き家が急速に増加すると予想されるが、所有者自身も管理・活用に問題を抱えている。

問 町内の空き家の現状把握は。

答 今年度職員による現況調査を実施し、建物523軒を確認。今後、国が示す基準を基に詳細確認を継続していく。

問 通学路や避難路の安全確保の取り組みは。

答 養老町ブロック塀等安全確保事業補助金を創設しており、耐震診断、改修、建て替え及び除却に対する費用の一部を補助している。

問 相続人などへの対応は。

答 毎月第3木曜日に無料相談を各公民館で実施。その他、固定資産税納税通知書送付時に適正管理依頼、空き



空き家対策プラットフォーム

問 解体に対する対応は。

答 老朽危険度判定表の評点100点以上の空き家は「養老町老朽危険空家除却事業補助金」を設け解体費の一部を支援する。



のむら えいいち 議員



町制施行70周年記念行事は

町長 養老町の強い絆を未来に繋ぐ

日常を取り戻しつつある中で迎える町制施行70周年という節目は、人と人、人と地域の結びつきを強固なものとする貴重な契機となる。

問 記念事業の基本理念は。

答 町民と一緒に養老の魅力を再認識するとともに、町内外に発信し、シビックプライドの醸成を図っていく。

問 主要事業の内容は。

答 記念式典では、11月に功労者に対する表彰などを、記念イベントでは、8月に新能を、冠事業では「養老フェスタ」「アセビ平ワッドテラス完成式典」「家族の絆 愛の詩」など計15事業を計画している。

問 住民参画への工夫は。

答 冠事業と町民企画事業の2つのメニューを用意して

問 70周年を契機に生まれる有形のレガシーは。

答 名誉町民である土屋禮一先生の絵を購入したい。個人と企業から寄附の申し出があった。現在、総理大臣官邸に展示されている「紅葉譜」について、来年秋以降の取得に向けて調整中。

養老町制70周年の歩み(抜粋)

事業	中期	前期
11月 記念式典	11月 功労者表彰式	8月 新能を冠事業
8月 新能を冠事業	アセビ平ワッドテラス完成式典	家族の絆 愛の詩
家族の絆 愛の詩	住民参画事業	町民企画事業
町民企画事業	冠事業	町民参画事業
冠事業	町民参画事業	町民企画事業
町民参画事業	冠事業	町民企画事業
町民企画事業	冠事業	町民参画事業
冠事業	町民参画事業	町民企画事業
町民参画事業	冠事業	町民企画事業
町民企画事業	冠事業	町民参画事業



おおはし みち子 議員



災害対策の一層の強化と充実は

町長 自助・共助・公助の連携を

南海トラフ地震が今後30年以内に70から80%と高い確率で発生する予測である。住民の避難場所は個々のニーズに応じた配慮が必要である。

問 避難場所として小中学校の体育館・各教室の活用は。

答 養老町地域防災計画において、各小中学校を指定避難所として利用することとしている。教室は、授業再開時に支障が出るため状況に応じて検討することとなる。体育館を優先的に使用することを考えている。

問 避難が長期になる場合の住居の確保は。

答 応急仮設住宅を建設する。また、民間住宅の借り上げも検討する。



災害対策用テントとベッド

問 各避難所に女性の視点を。

答 女性職員を避難所に配置し、女性に配慮した運営に努める。自治組織の運営側にも女性の配置を整えるよう働きかける。

問 届出避難所の運営は。

答 町民が自主的に開設し、運営する避難所であるが、町と地域が連携する場所となる。届出避難所に物的支援の滞りがないよう努める。

あれからどうなったんやあ〜

シリーズ 111

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和5年6月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 带状疱疹予防ワクチンは

こうなりました

带状疱疹の原因は水ぼうそうと同じウイルスで、日本人の成人90%以上の体内に潜んでいます。加齢や疲労、ストレスで免疫機能が下がると、ウイルスが活性化して带状疱疹を発症することがあります。带状疱疹の症状は、体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数集まって帯状に生じます。50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれています。

発症率を低減させ、重症化を防ぐことを目的に、養老町では令和6年4月1日より、50歳以上の方を対象に带状疱疹予防接種費用の一部助成を開始しました。

予防接種ワクチンは2種類あり、接種ワクチンの種類によって助成回数及び助成上限額が異なり、下記の表のとおりとなります。

接種ワクチン	不活化ワクチン	生ワクチン
助成回数	生涯2回まで	生涯1回まで
助成上限額	1回につき10,000円	1回につき4,000円

養老町内外の医療機関で接種し助成を受けることができます。詳しくはHPをご覧ください。

